

比較文化特論ⅠB

選択 2単位

コルネーリウス・スワートレーナ

1. 授業の概要(ねらい)
前期の演習に引き続き、受講生による研究発表と討論を行う。前期に発表した際の指摘を受け、報告内容をさらに向上させ、レジュメを作成し授業で配布し、それに対し他の受講生は積極的な質問を行うというように演習を進める。
セメスターにつき、発表は最低1回行うことを条件とする。
2. 授業の到達目標
 - ・研究発表を通して論文を書く能力を高める
 - ・全体的に「比較」を意識することで比較文化的な手法の応用について理解を深める
3. 成績評価の方法および基準
平常点(授業への積極的な参加、予習など)50%、発表50%からなる総合評価
*3回以上の欠席(公欠を除く)は不可とする
4. 教科書・参考文献
教科書
プリントを用意し配布する。
5. 準備学修の内容
発表の事前準備(テーマ選定、参考文献の収集・整理、レジュメの作成)を必要とする。
6. その他履修上の注意事項
継続的・積極的な受講を期待する。
7. 授業内容
 - 【第1回】 演習の進め方、発表の割り当て
 - 【第2回】 個人報告と討論
 - 【第3回】 個人報告と討論
 - 【第4回】 個人報告と討論
 - 【第5回】 個人報告と討論
 - 【第6回】 個人報告と討論
 - 【第7回】 個人報告と討論
 - 【第8回】 個人報告と討論
 - 【第9回】 個人報告と討論
 - 【第10回】 個人報告と討論
 - 【第11回】 個人報告と討論
 - 【第12回】 個人報告と討論
 - 【第13回】 個人報告と討論
 - 【第14回】 個人報告と討論
 - 【第15回】 個人報告と討論